

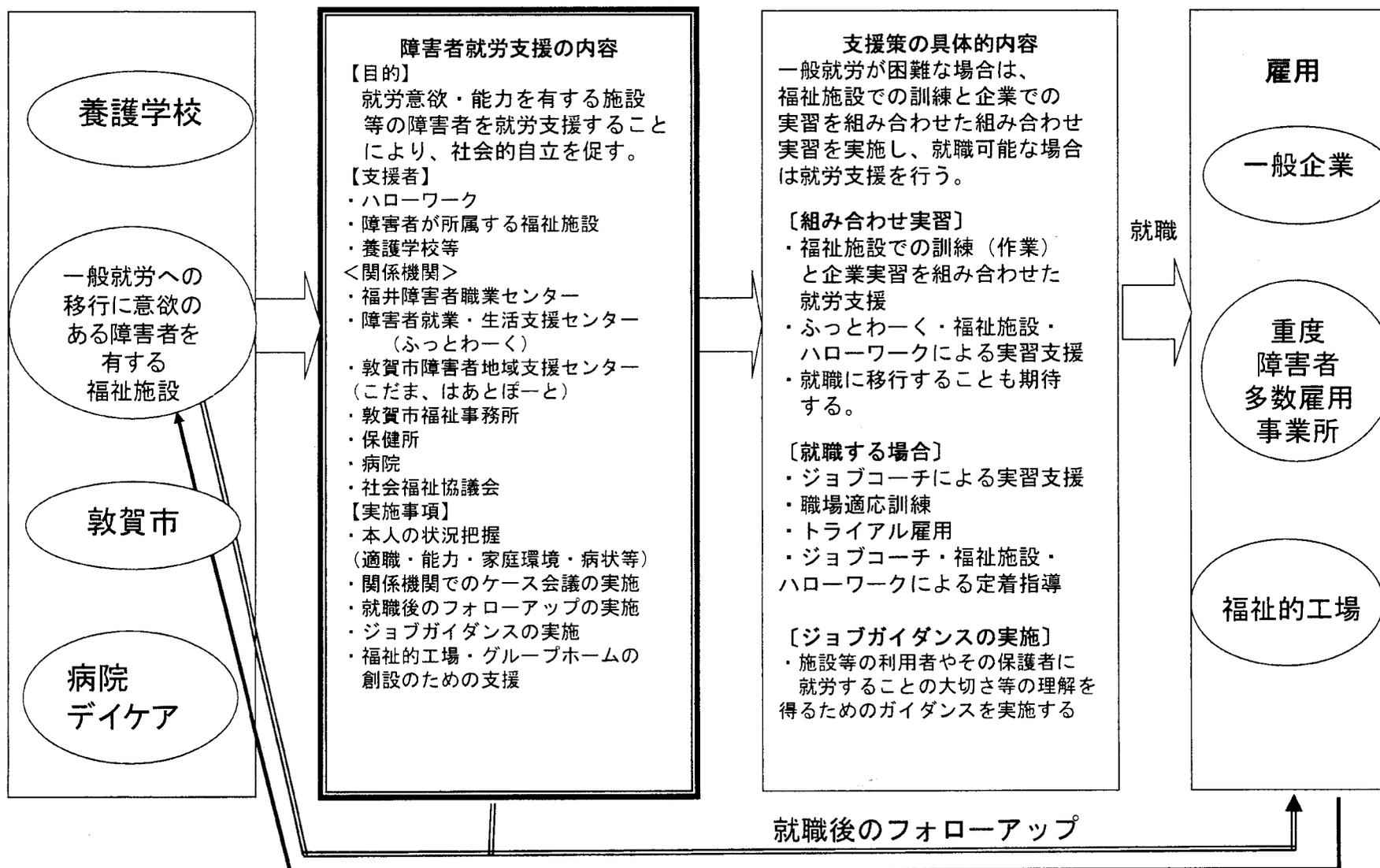
# 就労支援の実際

## ～ハローワーク敦賀の取り組み～

ハローワーク敦賀 雇用指導官 本田忠生

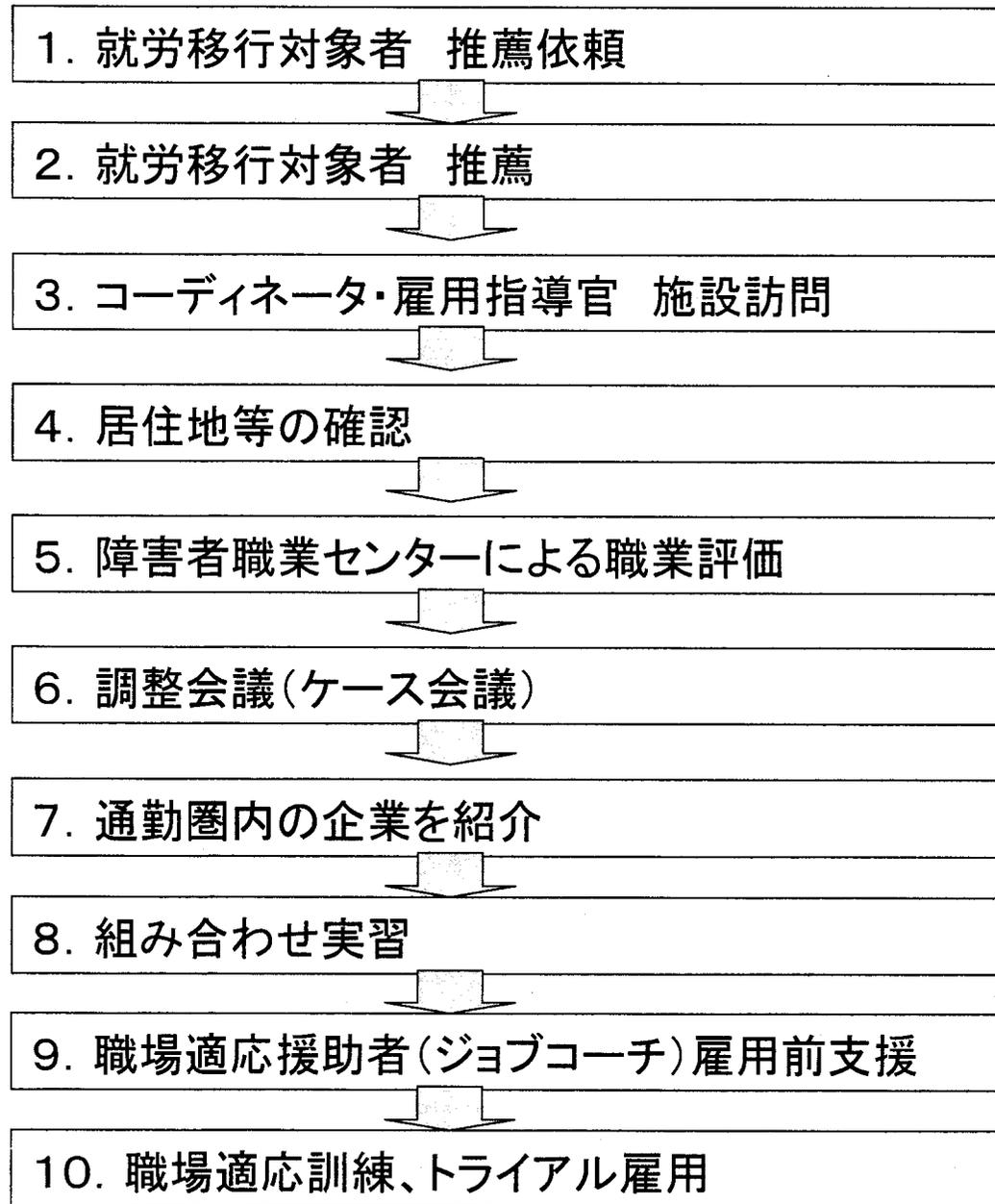
平成19年3月7日(水) 14:20～15:00

## 地域障害者就労支援事業 (ハローワーク敦賀)



離職後の再チャレンジが可能な仕組み

# 新規事業の 就労までの流れ



## 平成17年度の支援結果

①連携した施設等の数	9施設
②支援対象者	29名(延人員)
③就職者	16名
④組み合わせ実習実施者	15名
⑤協力事業所数	14社
⑥委託事業所数	4社
⑦障害者就労アドバイザー数	2名
⑧ジョブガイダンス実施回数	3回

## ハローワーク敦賀の取り組み

- H15.4～ 福祉施設へのアプローチ  
企業へのアプローチ
- H15.5 市役所へ福祉工場、グループホーム、  
生活支援センター設立について提案
- H16.6 野坂の郷(知的授産施設) 設立  
施設長から市役所へ改めて提案
- H16.9 福祉工場、グループホーム、支援  
センター設立に伴う準備会議 発足
- H17 地域障害者就労支援事業 モデル事業実施

- H17. 7 敦賀市障害者地域生活支援センター こだま  
が敦賀市の委託事業として設立される
- H18. 8 福祉的工場設立に向けた事業所との  
話し合い
- H18.10 発達障害者支援センター設立に伴う  
センター利用者の就労支援
- H19. 2 グループホーム設立、入居者の就労支援
- H19. 5 福祉的工場運営開始予定

## 教育との連携

名 称	つながりのきっかけ	最近の連携状況
福井県立 嶺南東養護学校	実習先を探してほしいとの依頼があった。	17年度は実習先のあっせん8名、 就職5名 その後の就労支援 ジョブガイダンス実施 (就職準備講座等) 18年度の卒業生は2名 3年生時の秋の実習をあっ旋し 雇用依頼を行い2名とも内定
福井県立ろう学校	実習先を探してほしいとの依頼があった。	実習先のあっせん2名

## 福祉施設との連携

種 別	名 称	定 員	施設の特徴	つながりの きっかけ	最近の連携状況
知的障害者 授産施設	敦賀市社会福祉事 業団 太陽の家	通所40名	敦賀市最大級の授産施設。	訪問	就職5名、福祉的工場就職に 向け8名が会社にて実習中
知的障害者 授産施設	野坂の郷	通所20名  デイ15名	平成16年4月開設の新しい 施設で、民間100%出資施 設。	訪問	18年度から連携開始 現在1名実習中 発達障害者支援センター業務 でも連携している。
知的・身体障 害者授産	はこべの家	知的通所20名 身体通所20名	管内唯一の身体障害者施 設。	訪問	就職4名
知的障害者 更生施設	敦賀市社会福祉事 業団 やまびこ園	入所30名 通所20名	更生施設だが、入所・通所 者共に就職可能者がいる。	訪問	就職6名、福祉的工場就職に 向け2名が会社にて実習中
地域生活支 援センター	敦賀市知的障害者 生活支援センター	—	敦賀市が市の単独事業とし て、平成17年7月より開設	市・福祉施設 が協同構築	知的障害者を中心に生活支援 について綿密な連携を行って いる。
精神障害者 授産施設	ひまわりの家	通所20名	平成15年4月に小規模作業 所から精神障害者授産施 設になった。	訪問	就職8名、現在1名実習中 ジョブガイダンス実施 行事等への参加。
精神障害者 生活支援 センター	はーとぼーと さくらヶ丘	通所20名	上記と同時に開設した、 生活支援センター。	訪問	就職1名、 ジョブガイダンス実施 行事への参加。

※平成16年度で敦賀市で予算化され、平成17年7月から開設されているもの

## 医療との連携

種 別	名 称	定 員	施設の特徴	つながりの きっかけ	最近の連携状況
精神障害者 デイケア	猪原病院	20～ 30名	入院病棟があるため、退院後からリハビリ的に通える。	精神障害者嶺南勉強会 (ソーシャルワーカーの集まり)	就職2名 ジョブガイダンス実施
精神障害者 デイケア	敦賀市立 病院	20～ 30名	外来のみのため軽度が多い。	精神障害者嶺南勉強会 (ソーシャルワーカーの集まり)	就職2名 ジョブガイダンス実施
精神障害者 デイケア	嶺南病院 福祉寮	10名 程度	退院後2年間入寮することができる。	精神障害者嶺南勉強会 (ソーシャルワーカーの集まり)	就職1名

## 事業主との連携

事業所	主な事業内容	選 定 理 由	実習受入 可能人数
A	木製家具製造業	養護学校からの就職受入があった。 平成19年5月より福祉的工場運営開始予定	10 名
B	非鉄金属解体	障害者雇用は初めてだが、知的・精神障害者に合った仕事が多くあり、理解もあるため。平成20年度中に福祉的工場創設予定。	5 名
C	電気部品製造	三障害の雇用経験がある。重度知的障害者が働ける部門(7~8人)を新たに創設予定。	8 名
D	おしぼりのレンタル	多数の知的障害者の雇用経験があり(12名以上)障害者について理解があるため。	2 名
E	包装資材・バック等の加工	多数の知的障害者の雇用経験があり(15名以上)障害者について理解があるため。	2 名
F	クリーニング業	知的・精神障害者の雇用経験があり(4名)障害者について理解があるため。	2 名
G	木製品製造業	知的障害者に理解があり多数の実習経験があるため。	2 名
H	昆布製造卸業・小売業	精神障害者、5名の雇用経験があり、知的障害者についても理解があるため。	2 名
I	老人介護	精神障害者の社会復帰に理解を示し、実習の受入を承諾	2 名